

令和6年度の特に重点的に取り組む4つの施策についてご説明申し上げます。

- 1 交流人口及び移住・定住をさらに促進いたします。交流人口につきましては、本年度サンゴ留学生の寮を整備し、令和7年度には3学年全てが揃い、喜界高校において約20名の留学生を受け入れいたします。また、令和5年度に完成いたしました荒木小学校跡のコワーキングスペース「KIKAI BESE」を活用し企業を呼び込みます。移住・定住につきましては、空き家バンク制度の拡充と空き家改修により受入体制の整備を行い、さらに促進いたします。
- 2 3歳以上の保育園・幼稚園に通う園児の給食費の無償化を実施いたします。現在、小学校・中学校の義務教育学校に通う児童・生徒の学校給食費の無償化を実施しておりますが、令和6年度から3歳以上の保育園・幼稚園に通う園児の給食費の無償化まで拡大いたします。
- 3 畜産農家の支援を継続いたします。肥料・飼料の高騰に加え子牛価格も低迷し畜産農家の経営に大きな打撃を受けております。令和5年度は国の事業を活用し、家畜共済掛金の全額助成を行いました。令和6年度は、町の単独事業で継続して家畜共済掛金の2分の1を助成します。また、購買者意欲

促進事業として子牛輸送コスト支援事業を令和7年度まで実施いたします。

- 4 喜界町の地域資源を活用した循環型社会の実現を目指します。令和5年度に喜界町地域脱炭素化推進協議会を設け、喜界町脱炭素化ビジョンを策定いたしました。そのビジョンを基に本町におけるCo2の見える化やサンゴ礁文化を活用した新しいライフスタイルの検討、再生可能エネルギーの実現可能性調査等、進めてまいります。また、行政のほか、町民や島内外の事業者、学術機関等の連携の強化も進め、町の抱える地域課題の解決や地域経済の向上・活性化を図ってまいります。